

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	疾病論III(脳神経・運動器)	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	佐藤 通洋	実務経験と その関連資格			

《授業科目における学習内容》

骨・筋運動領域での疾患では骨折・椎間板ヘルニア・リウマチ・脊髄損傷などによる運動障害や機能障害を学ぶ。脳神経の領域での疾患では、脳血管障害や難病について学ぶ

演習参加状況、レポート課題提出状況、小テスト、並びに筆記試験で総合的に評価する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座 専門分野 I 解剖生理学 専門基礎分野4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 専門分野10 成人看護学 運動器 医学書院

《授業外における学習方法》

インターネットや他業者の教科書参照

《履修に当たっての留意点》

授業の 方 法	内 容		使 用 教 材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 1 回  講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1脳神経系について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 4 病 理学 専門分野7 成人看護学 脳・ 神経 10成人看護	教科書で予習する
	各コマに おける 授業予定	脳腫瘍 1疾病の概念 ①転移性脳腫瘍 ②原発性脳腫瘍		
第 2 回  講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	1脳神経系について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 4 病 理学 専門分野7 成人看護学 脳・ 神経 10成人看護	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	2 検査と治療 CT・MRI 手術・ガンマーナイフ		
第 3 回  講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	2 高血圧性脳内出血について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 4 病 理学 専門分野7 成人看護学 脳・ 神経 10成人看護	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	1. 疾病の概念 ①発生機序 ②分類		
第 4 回  講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	2 高血圧性脳内出血について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 4 病 理学 専門分野7 成人看護学 脳・ 神経 10成人看護	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	2. 診断と治療 ①症状－高血圧・片麻痺・血腫増大 ②検査と治療 開頭血腫除去・吸引術 1)脳室ドレナージを行う 2)頭蓋内圧コントロール		
第 5 回  講 義 形 式	授業を 通じての 到達目標	くも膜下出血について説明できる	系統看護学講座 専門基礎分野 I 解剖生理学 4 病 理学 専門分野7 成人看護学 脳・ 神経 10成人看護	教科書・参考書で予習・復 習する
	各コマに おける 授業予定	1. 疾病の概念 ①発生機序 ②分類 2. 診断と治療 1)症状－頭 痛 2)検査と治療－血管撮影検査・腰椎 解頭ネッククリッピング術、 コイル塞栓術 正常水頭圧－腹腔シャント術		

授業の方法			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定		
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	パーキンソン病について説明できる ①疾病の概念 1)病理 2. 診断と治療 1)症状－四大症状(振戦・筋萎縮・寡動 無動・姿勢反射障害) 2)検査と診断 MIBG 心筋シンチグラフィ 3)治療 薬物療法	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	アルツハイマー病について説明できる 1. 疾病の概念 1) 定義 2)発生の機序	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	アルツハイマー病について説明できる 2. 診断と治療1)臨床症状－中核症状、周辺症状 2)診断基準と検査－MRI、脳血流シンチグラフィ 3)治療－薬物療法、非薬物療法	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	II、骨筋肉系(骨粗鬆症)について説明できる 骨粗鬆症 ①疾病の概念 1)骨粗鬆症とは 2)分類 3)病態 (1)脆弱性骨折 (2)骨密度 2 診断と治療 1)診断 2)治療	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	II、骨筋肉系(大腿部頸部骨折)について説明できる 大腿骨頸部骨折 ①疾病的概念 1)大腿部頸部骨折とは 2)分類 2診断と治療 ①診断②治療 (1)保存療法 (2)手術療法 (ガンマネイル法・エンダー釘固定)	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	II、骨筋肉系(大腿部頸部骨折)について説明できる 2 診断と治療 ①診断②治療 (1)保存療法 (2)手術療法 (ガンマネイル法・エンダー釘固定)	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	腰椎圧迫骨折について説明できる 腰椎圧迫骨折 ①疾病的概念 1)発生機序 2)分類 3)病態の変化	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	腰椎圧迫骨折について説明できる 腰椎圧迫骨折 症状・診断・治療(1)症状－円背、偽関節 (2)診断 (3)治療	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	骨折について説明することができる 1疾病の概念 1)定義 2)分類 ①病的骨折・脆弱骨折	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標 各コマにおける授業予定	骨折について説明することができる 2. 症状・診断・合併症・治療 1)症状2)診断3)合併症4)治療	系統看護学講座 専門基礎分野I 解剖生理学 4 病理学 専門分野7 成人看護学 脳・神経 10成人看護
				教科書で予習・復習する